

番組審議会議事録

日時 令和6年5月17日（金）13：30～

場所 萩テレビ株式会社 会議室

出席者 審議委員6名 会社側3名

議題

[1] 会社側の報告等

・近況報告

宇宙天気災害が2024年起こる可能性があるという報道されている。太陽の表面が突発的に爆発する「太陽フレア」が起こると、地球上の社会インフラがダメージを受けるそうである。放送業界にも影響があるかもしれないので今後注目していきたい。

・今回の審議番組について説明

審議番組：「コミュニティラジオは防災ラジオ」（令和6年4月17日 14：00～15：00）

パーソナリティ：三浦正之 三浦恵子 久保田桂子

○番組内容：地域防災リーダーの三浦正之さんと三浦恵子さんが防災情報をお届けします。

- ・線状降水帯が永く居座ったら、どうなる？
- ・雷が鳴ったら、どうしたら安全？
- ・停電！どのように過ごせばいい？
- ・TVで内水氾濫と言っているけど、何？
- ・阿武川ダムがあるから洪水はないって本当？

番組ではこのような疑問を投げかけて、防災についてみなさんと一緒に考えます。4月17日の放送のテーマは「津波」。

[2] 番組内容の審議

次のような意見があった。

- ・台本読みと思われる場面もあったが、自分で取材されたところを自分のことばで意見されていたので、自然に聞く事ができて聞きやすかった。
- ・上記に基づき、他人事ではなく自分事として話を聞く事ができた。
- ・三見ではエフエム萩の生放送が聞けないが、ポッドキャストを繰り返し聞くことによって防災の意識につながる。
- ・進行・内容がとてもよかった。

- ・ 「今回は津波のテーマで話します」や「次回は停電について話します」とテーマにのっとなって話しているので、次回の番組も聞きたくなる。
- ・ 途中から聞いても津波や防災と言ったフレーズを何度も使っておられて聞きやすかった。
- ・ 番組内で出てくるクイズも惹きつける内容だった。
- ・ 非常にためになる内容だった。
- ・ 萩市に住んで長いが初めて聞く内容もあり、大変面白かった。
- ・ タイムリーな話で、4月14日に防災訓練を行い、この防災ラジオを聞いて更に防災の意識・防災訓練の大切さがよく分かった。
- ・ ペーパーノイズが気になった。
- ・ 全体的に「防災ラジオ」の内容が良く、約1時間の番組だったが長く感じなかった。
- ・ 3人構成での番組でしっかり役割があり聞きやすかった
- ・ コミュニティラジオらしく地元の地域における津波の話でありとても身近に感じた。
- ・ 救命いかだの話・救命パックの話は非常に深い話だった。
- ・ 耳からの情報なので”ハザードマップ”を見ながらだと分かりやすい。
- ・ 大切な命を守る、大切な番組だと感じた。
- ・ 聞きやすかったし、非常に勉強になった。
- ・ 前半に聞き馴染みのない単語が有り、ながら聞きが難しかった。
- ・ 津波から命を守るポイントっていうのを3回繰り返して教えてくれたので、これは覚えておかないと…という感じですごく頭に入ってきました。
- ・ サイマルからラジオだけの放送になった時、笑い声も入りアイスブレイクになり安心感が生まれた。
- ・ 少し専門的になる場面が多かった。
- ・ 棒読みになる場面もあった。
- ・ 日本海沿岸の萩では津波はないと思っていることから、今回のテーマである津波は学ばせてもらうことが多くあった。

<会社側からの回答>

- ・ これからも市民が聞いて役立つ情報発信及び新しい番組の企画に努めていきたい。

[3] 次回開催について

次回は、令和6年7月11日(木)13:30～に開催することが決まった。
審議番組は、『浜崎伝健おたから博物館生中継特番』(5/19放送)に決定した。

